

様式 1

令和 7 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 2 7 日

江別市立野幌中学校

1 本年度の重点目標

夢を持ち、トライ&エラーし続ける生徒の育成

～「自己決定」「自己表現」「振り返り」を重視した教育活動を通して～

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	学校の実態を踏まえ、教職員一人一人を活かした効率的な組織運営と協働体制が図られている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育アンケート（生徒・保護者・教職員）、人事評価シート、学習（生徒・教職員）アンケート、学校評価、いじめアンケート等の結果を踏まえた改善による学校運営をより一層推進する。 ○学年や分掌など、組織体制の充実を図り、各種アンケートや調査結果を分析し、生徒の実態に応じて真摯に対応し改善を図る。 ○定例の校内運営委員会以外にも随時分掌間の連携を図り、意思疎通を図る。 ○グランドデザインの作成について、自分事の意識を高め、全職員の参画を促し、協働体制の構築を図る。 ○個業中心の業務から、組織で対応する体制を構築する。 	A	A
	校内外の研修を通して、一人一人の教職公務員としての資質向上（指導力の向上）が図られている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○研究部を中心とした、一人1実践の研究授業に継続して取り組み、授業の相互参観など、組織的な研究体制を構築する。 ○QUの結果の見取りについて職員研修会を実施し、素早く対応することを心がける。 ○不登校生徒や配慮が必要な生徒等の今日的な課題を理解するための職員研修会を実施する。 ○各種調査分析結果を授業改革に生かし、生徒の資質・能力の向上を目指す。 ○学習評価の在り方についての研修。 	A	A
	積極的な情報発信を通して、保護者、地域との信頼関係の構築が図られている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○HP、メール配信、学校便り、学年便り、学級便り等を通じた積極的な情報発信に努める。 ○PTAの地域交流会を小中一貫教育の一端を担う事業に置き、地域、保護者、学校運営委員等と意見交流を行う。 ○制服リユース販売について継続した事業になるよう、積極的に地域に情報発信し、提供をしてもらう。 	A	A

教育課程・学習指導	学校の実情を踏まえ、創意ある教育課程が編成され、授業時数の確保が適切になされている。	A	○各学年ともに余時数の確保に努める。 ○教育活動全般において検証改善サイクルを機能させ、カリキュラムマネジメントを行う。 ○外部講師等を招き、心を豊かにする教育活動を積極的に取り入れる。	A	A
	対話やICT（情報通信技術）の活用など、わかる授業を目指した指導方法の工夫が図られている。	B	○日常的に対話を取り入れた授業改革が行われており、継続して取り組みを推進する。 ○ICT機器を効果的に活用し、個別最適な学びの実現に向けた研修会を実施する。 ○本校の研究仮説とタイアップさせ、わかる授業を目指し、他教科の授業においても積極的に交流を促す。	B	A
	各学年で、家庭学習の習慣化を目指すなど、学力の向上が図られている。	B	○家庭学習の習慣化に向け授業展開の工夫、計画表の作成、保護者への啓発を継続して行う。 ○家庭学習の習慣化に向け、放課後学習会への参加を促し、学習習慣を身につけさせる。	B	A
生徒指導	服装、頭髪、時間を守るなどの基本的な生活習慣の定着が図られている。	A	○ノーチャイムの実施により、生徒自身が時間の見通しを持ち、主体的に行動するよう、支援を行う。 ○学校スローガン「野中プライド」を意識し、さらに「トライ&エラー」を生活の中で意識させ、野幌中の伝統へと繋ぐ。	A	A
	思いやりの心、好ましい人間関係を構築するため、元気に声を出して挨拶を教師と生徒間で励行している。 相手の立場を尊重し、いじめはどんなことがあっても許されないと考える生徒への指導が適切に行われている。	B	○生徒の実態に合わせ、道徳教育を推進し、タイムリーな道徳教材によって生徒の心を養う。 ○毎朝の教職員による挨拶運動を継続し、好ましい人間関係の構築を図る。 ○相談活動の充実に向け、教育相談週間等を設定した実践を推進する。 ○日常的に生徒について寄り添い、生徒理解に向けたコミュニケーションの充実を図る。 ○いじめの防止・早期発見のため、定期的に「いじめ防止対策委員会」を開催し、速やかな確認・報告・指導の徹底を組織として真摯に対応する。 ○いじめはどんなことがあっても許されないとする生徒の割合100%を目指す。	B	A
小中一貫教育	小中一貫教育に向け、校区内での小中合同CS会議や、PTA地域交流会の開催、部活動の地域イベント参加など、地域との交流を図っている。	A	○次年度も合同CS会議を実施し、野幌中学校区の交流を図る。 ○持続可能な地域交流会を実施する。 ○持続可能な制服リユース販売に向け、整備を行う。 ○吹奏楽部による地域への演奏や、校区内の小学校での演奏を継続する。	A	A
	校区内の小学校と密に連絡を取り、義務教育9年間の連続した教育課程と捉え、教育活動の改善と推進を行っている。	A	○中学校での合唱交流会への小学校の参加を継続して実施する。 ○入学説明会時の中学校体験授業に参加することで、スムーズに入学することを期待し、継続させる。 ○若葉・東野幌・野幌の3小と野幌中による児童生徒（不登校・支援が必要・ネットラブルなど）の引継ぎや交流会を確実に実施する。	A	A
<p>【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】</p> <p>◎先生方には分野別の目標、評価項目に沿った改善を生徒に寄り添って推進いただき、深く感謝申し上げます。特にICTの発展とともにAIにまで着目され、一方でいじめの積極的な認知等、生徒のみならず先生の能力の底上げにトライ&エラーいただいていることを評価するなど恐れ多い気持ちです。今後とも地域の一員として生徒や先生方の学校運営の一助となるように応援させていただきますと存じます。</p> <p>◎自己評価の適切さの現状をきちんと踏まえて学校も評価していると思います。達成状況がBの箇所も改善の方策として適切だと思えます。家庭学習の習慣化は保護者の協力や本人の学習習慣にも関わってくるのでそれが一番難しいと思えます。先生の研究授業も行われていたり、いろいろ情報発信をさせていただくのはとても良いことだと思えます。大学の先生からは野幌中の「野中プライド」と「ノーチャイム」、とても褒められています。</p> <p>◎学習指導の達成状況はAで良いかと思えます。生徒指導も同様にAで良いかと思えます（あえて厳しく評価されていると判断しますが）。</p>					
<p>【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない</p>					

7月学校教育アンケート

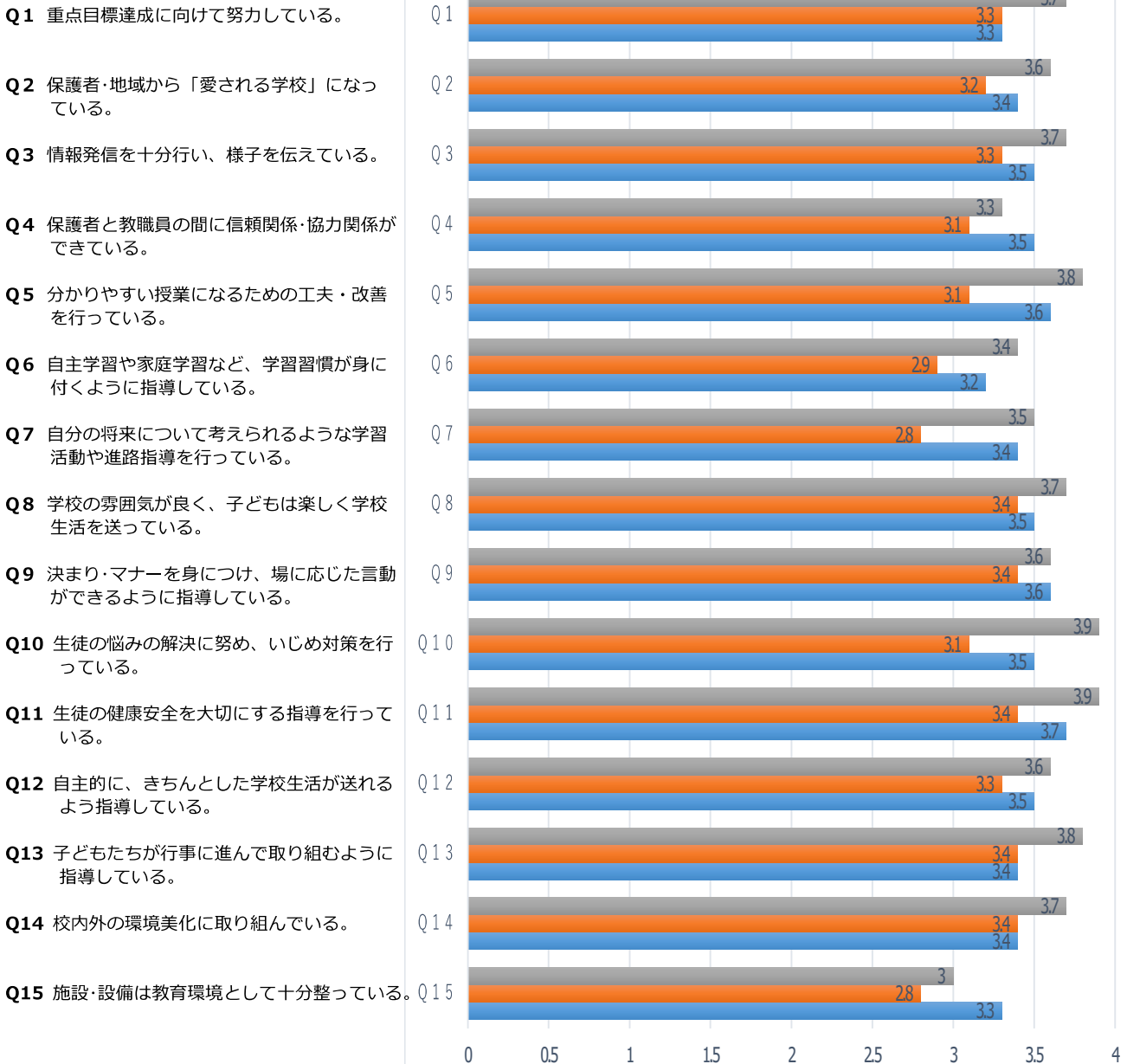
学校教育アンケートへの御協力、ありがとうございました。次回12月もGoogleフォームでアンケートを実施いたしますので、さらに多くの保護者の皆様のご回答を、よろしくお願いいたします。

回答については、様々な御意見、御指摘、御要望をいただきました。本当にありがとうございます。しっかりと検討・対策を行い、今後の学校運営に生かしてまいります。

※回答いただいた評価を、A = 4 B = 3 C = 2 D = 1として平均値を算出しています。(最大値4)

■ 教職員 ■ 保護者 ■ 生徒

【質問項目】



【保護者アンケートから】

部活動の指導、暑熱対策、学校設備（トイレ等）に関する御意見や御要望をいただきました。貴重な御意見、ありがとうございます。迅速に対応させていただきます。今年度は421名の子ども達が、日々生き生きと学校生活を送っています。しかし、学校環境はめまぐるしく変わってきています。将来の予測が困難な時代ですが、トライ＆エラーを通して、子どもたちの成長を促し、『チーム学校』としてしっかりと時代の流れをつかみながら、子どもたちの成長に向け、真摯な対応と改善に向けた取組を推進してまいります。

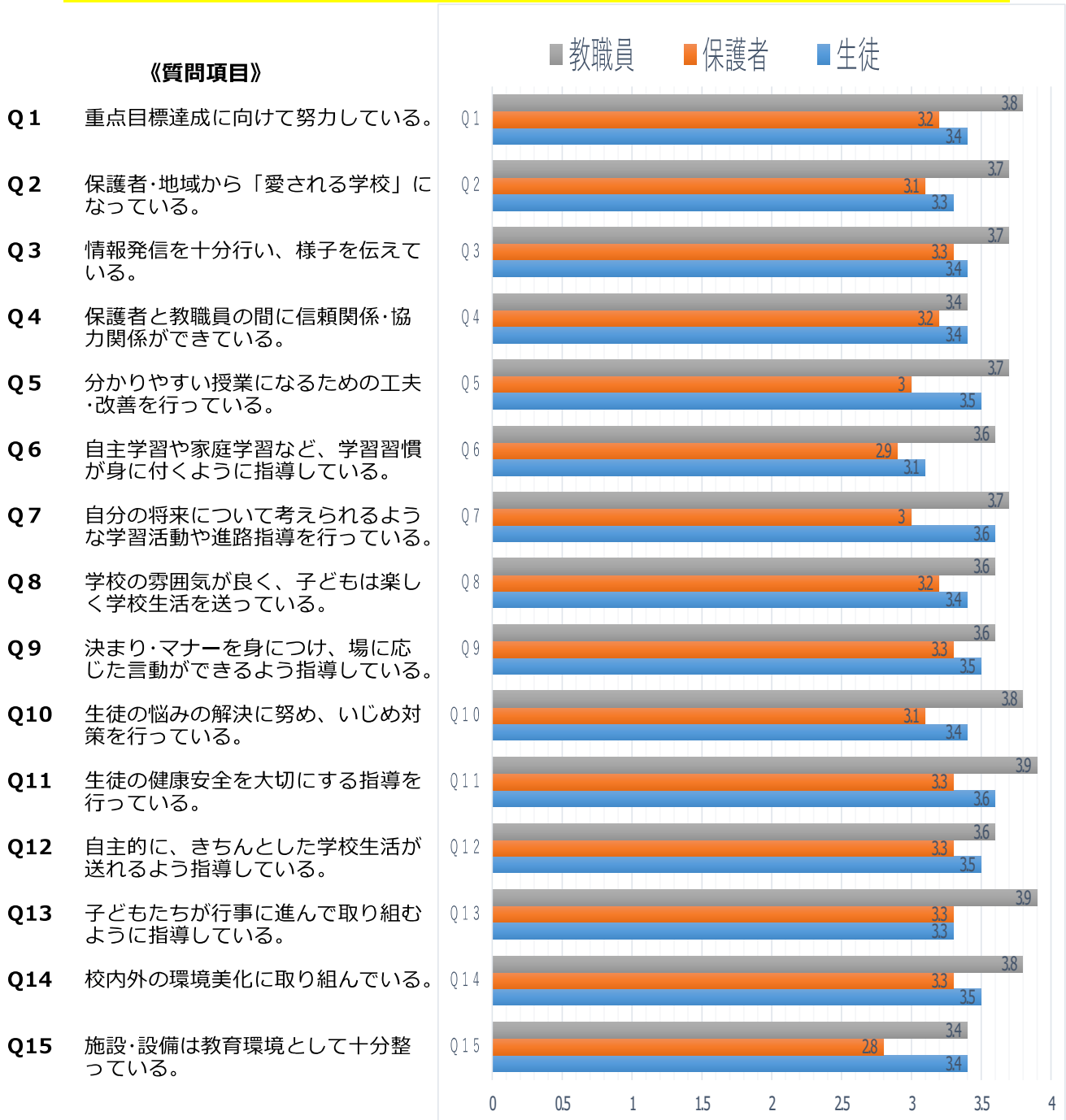
【生徒アンケートから】

エアコン設置についての要望が多数あり、さらに学校の施設設備等についても意見をいただきました。また、授業で活用しているICT（タブレット）についての意見もありました。ありがとうございます。昨年度より、各教室にはスポットクーラー、サーキュレーター、扇風機が設置されています。また、今年度から塩分補給のタブレット等の持参も許可しています。エアコン設置については江別市の対応となり、完備までには2~3年かかることが予想されます。御理解をお願いいたします。

引き続き、水分・塩分補給や着衣での体温調節、冷涼グッズで夏の暑さを乗り切るように、子どもたちへの声かけをお願いします。

※回答いただいた評価を、A = 4 B = 3 C = 2 D = 1として平均値を算出しています。(最大値4)

【第2回学校教育アンケート結果】



* 保護者アンケートにつきましては、学校内での様子についての質問が多く、評価しにくい面があり、大変ご迷惑をおかけしておりますが、生徒・保護者・教職員が同様のアンケートを行い、三者の目線から御意見をいただき、学校教育の質の改善・向上を目指して実施しています。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

* Q15について、施設・設備については老朽化している部分が多く、子ども達には不便をかけております。エアコン設置については、江別市の予算で準備されるものであり、学校の判断ではエアコンの設置は不可能です。中学校は令和9年以降に設置が予定されております。ご承知おきください。

* 評価が、概ね同様になることが大切だと考えております。教職員と生徒・保護者の評価で、差がついている項目に関しては、学校側として真摯に受け止め、解決に向けて検討してまいります。保護者の皆様、御協力、誠にありがとうございましたm(_ _)m。